



平成 27 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 佐々木 朗
 (コード番号 5541 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 菅井 一之
 (TEL 03-3201-6681)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 30 日に発表した平成 27 年 3 月期通期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 10 月 30 日発表)	百万円 64,986	百万円 △4,659	百万円 287	百万円 △984	円 銭 △5.04
今回修正予想 (B)	61,591	△5,509	1,211	△72	△0.37
増 減 額 (B-A)	△3,395	△850	924	912	
増 減 率 (%)	△5.2	—	322.0	—	
(参考)前期実績(平成 26 年 3 月期)	56,408	△4,079	△1,838	△6,149	△31.51

2. 修正の理由

連結業績予想については、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、国内外の稼働状況に一部減速感も見られますが、フェロニッケル製品の販売は一定の数量を確保できるものと見込んでおります。

また、フェロニッケル製品の価格形成の指標となる当社適用 LME ニッケル価格は、LME 在庫の史上最高値更新等もあって、見通しに不透明な要因が多く、低調な推移を見込んでおります。

さらに、フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達においては、インドネシア鉱石禁輸等に伴って購入価格が従来価格より高値で推移いたしました。

一方で、足元の環境から、海外の持分法適用関連会社の投資利益が増加することが予想されます。

以上を勘案し連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)前提条件の修正

	販売数量(T)			生産数量(T)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成 26 年 10 月 30 日発表)	18,216	15,284	33,500	15,727	15,135	30,862
今回発表予想	18,216	13,768	31,984	15,727	14,066	29,794
(参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	16,187	21,614	37,801	—	—	—

	適用 LME ニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成 26 年 10 月 30 日発表)	8.10	8.48	8.27	102.30	101.78	102.06
今回発表予想	8.10	7.49	7.84	102.30	113.10	106.95
(参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	6.76	6.39	6.55	97.64	100.77	99.43

以上